

災害から素早く、安全に避難するために

ハザードマップを配布します

市は、皆さんが災害時に素早く安全に避難できるように、「花巻市ハザードマップ」を作成しました。

今号の「広報はなまき」と併せて「ハザードマップ」「みんなの防災手帳」を各世帯に配布します。これらを活用して災害に備えましょう。

■ハザードマップとは

避難場所や過去の洪水範囲、土砂災害の恐れがある区域、活断層などの情報を詳しく掲載した地図です。

■ハザードマップの使い方

①周囲の危険箇所を確認
自宅や職場、学校などの周囲にどのような危険箇所があるか、あらかじめ確認しておきましょう。

②災害時に逃げる場所を確認

避難場所ごとに対応する災害のマークが表記されています。どのような災害のときに、どこに逃げればよいか確認しておきましょう。

③避難経路を確認

道路が寸断される場合を想定し、複数の経路を考えておきましょう。



避難場所ごとの災害のマークを確認しよう

指定緊急避難場所には、災害の種類によって使用できない避難場所があります。

例えば、花北振興センターは北上川が氾濫したときに浸水する恐れがあるため、河川洪水災害のときは使用できません。

洪水の恐れのあるときは桜台小学校などが避難場所となります。

ハザードマップでは次のように表記しています。



状況に合わせて避難場所を選びましょう。

◆ ◆ ◆
マップは、避難場所を書き込めるようになっています。家族で情報を共有しておきましょう。

【問い合わせ】

本庁防災危機管理課(☎24・21
11内線476)